

令和4年1月31日

独立行政法人農業者年金基金（理事長 西恵正）は、このたび、東日本高速道路株式会社が発行したソーシャルボンド（以下「本債券」といいます。）を取得しました。

※「ソーシャルボンド」とは、社会的課題の解決に資する事業に充当することを調達資金の用途とする債券です。

本債券発行による調達資金は、高速道路の建設・更新事業を通じて、地域活性化・災害対策・交通安全の推進・環境保全などといった観点から、社会的課題の解決に役立てられます。

当基金は、「スチュワードシップ責任を果たすための方針」（平成26年9月18日制定）のもと、ESG（環境・社会・ガバナンス）を考慮の上、運用受託機関を通じて投資先企業の企業価値の向上や持続的成長を促す活動を行ってきました。

今後とも、こうした活動を通じて、農業の持続的な発展に資するとともに、加入者の皆様の老後の生活の安定及び福祉の向上に努めてまいります。

取得した債券 （概要）	東日本高速道路株式会社第91回社債 （格付 R&I：AA+、JCR：AAA、ムーディーズ：A1）
債券の発行総額	300億円
年 限	10年
発 行 日	令和4年1月31日

（照会先）  
資金部企画課 菅原、内村、小川  
TEL：03-3502-3898